

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12101	科名	ファッション工科基礎科1年	単位	19
科目コード	000210	科目名	服装造形 I	授業期間	前期・後期

担当教員(代表) : 早瀬 千加子他担任	共同担当者 : 1-早瀬・2-大津・3-山根・4-塚崎・5-山根 6-田中・7-池端
----------------------	---

<p>科目概要、到達目標、レベル設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服全般の基礎知識を習得する。(縫合の基礎、作図基礎理論、体型観察) ・服作りの基礎となる服の構造、デザイン表現、作図方法、素材の扱い方、縫製方法を各アイテムにおいて習得する。 ・バザー作品を通し、ボランティア精神の育成と既製服としてのデザイン、縫製法、検品、販売までの流れを学習する。 ・ドレーピングの基礎知識を習得する。(ボディについて、布の準備、基礎ドレーピング・マーキング・ドラフティング)
--

【授業計画】			
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先			
服装造形論 I	4単位	000210	
服装造形デザイン I	4単位	000310	
服装造形パターンメイキング I	4単位	000510	
服装造形ソーイング I	7単位	000610	
1 基礎 I (一般知識・縫い方の基礎)	前期7コマ	基礎縫いA ミシン縫い・B 手縫い	
2 体型研究	前後期21コマ	身頃原型・スカート原型(1/4・実物作図)・トワール製作・試着補正・レポート	
3 スカート I	前期18コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート	
4 シャツブラウス I	前期34コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート	
6 子供服	前期3コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート	
7 バザー作品	前後期8コマ	文化祭バザー作品実物製作・検品・販売	
8 スカート II	後期25コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート	
9 ジャケット I	後期56コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート	
10 ワンピースドレス I	後期53コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート	
11 パンツ I	後期14コマ	デザイン・パターン・実物製作・レポート	
12 ドレーピング基礎(文化ボディ)	後期6コマ	胸ぐせダーツのバリエーション(アームホールダーツ)	

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>・評価基準：服装造形論 学業評価100%・服装造形デザイン、パターンメイキング、ソーイング 学業評価80%、授業姿勢20%</p>
--

<p>主要教材図書 文化ファッション大系 服飾造形講座 ①服飾造形の基礎 ②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース ④ジャケット・ベスト ⑧子供服 ⑨メンズウエア I 文化ファッション大系 アパレル生産講座 ③立体裁断 基礎編</p>
--

参考図書 装苑・コレクション誌他

その他資料 実物標本・段階標本、参考プリント他

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>服作りの基礎となる服の構造、デザイン表現、作図方法、素材の扱い方、縫製方法を各アイテムにおいて習得する。 バザー作品を通し、ボランティア精神の育成と既製服としてのデザイン、縫製法、検品、販売までの流れを学習する。 ドレーピングの基礎知識を習得する。</p>

<p>記載者署名欄 早瀬 千加子</p>

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12101	科名	ファッション工科基礎科1年	単位	1単位
科目コード	005600	科目名	量産技術概論・実習	授業期間	後期(集中)

担当教員(代表)：成田 邦子

共同担当者：佐藤 明彦

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品の生産について関心を持たせ、一品作りと量産の違いについて認識させること目標とする。
 実習として工業用ミシン・アイロンを主とした生産機器の安全な使用方法を習得する。
 生産指示書類の見方に関する講義や特殊機器見学を行い工業生産に関する理解を深める。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- I. アパレル産業界の生産プロセス (1コマ)
 - ①授業概要説明(出席、評価方法等)
 - ②アパレル産業界の生産プロセス
- II. 仕様書と指図書の見方 (1コマ)
 - ①加工裁断芯貼り指図書とは
 - ②縫製仕様書とは
- III. 工程分析表 (1コマ)
 - ①工程分析とは
 - ②工程分析表の見方
- IV. 裁断実習 (1コマ)
 - ①作業標準書の見方
 - ②延反・裁断実習
- V. 基礎練習 (2コマ)
 - ①本縫いミシン・縁かがりミシン・アイロンの操作方法
 - ②生産機器を活用した縫製練習(部分縫い)
- VI. 特殊機器見学 (1コマ)
 - ①工業生産機器の名称や役割について理解を深める

※クラスでのパンツ作品製作コマ数を合算して1単位とする

【評価方法】

P評価

主要教材図書 「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書 なし

その他資料 プリント配布

授業の特徴

顧客が要求する高い品質の商品を作り出すためには、まずミシンやアイロンという生産機器が持つ性能とその操作方法を正しく理解することが必要である。実習や講義を通じてアパレル生産に対する理解を深めるきっかけづくりが授業の特徴である。

担当教員紹介

文化服装学院 専任教授／文化服装学院 専任講師

記載者氏名 佐藤 明彦

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	単位	2
科目コード 950011 950012	科目名 自由研究 I A I B	授業期間	通年

担当教員(代表) : 早瀬千加子他担任	共同担当者 : 1-早瀬・2-大津・3-稲葉・4-塚崎・5-山根・6-田中7-池端
---------------------	---

<p>科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装造形の全ての細目において、各自興味を持ったテーマについて研究する。 ・各自の目標に合わせて既習細目におけるレベルの向上をはかる。 ・個々の能力に合わせて知識・技術を応用発展させ、各自の専門性を追及する。 ・発表会(展示会)を行うことにより、プレゼンテーション能力を養う。
--

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>各自の目標に合わせて計画をたて、個々の能力に合わせて知識・技術を応用発展させて研究を行う。 前期末にて提出し点検・採点を行い、後期の研究につなげる。 学年末に発表会・展示会を行う。</p>
--

<p>評価方法・対象・比重 研究発表・作品・レポート他</p>

<p>主要教材図書 文化ファッション大系他</p>
<p>参考図書 なし</p>
<p>その他資料 なし</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介 個々の能力に合わせて知識・技術を応用発展させ、各自の専門性を追及する。 発表会(展示会)を行うことにより、プレゼンテーション能力を養う。</p>
--

<p>記載者署名欄 早瀬 千加子</p>

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科 1年	単 位	1単位
科目コード 600100	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間	後期

担当教員(代表) : 澤谷 目童

共同担当者 :

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ファッションとは	16	
2	ファッションとファッションビジネス	17	
3	ファッションビジネスの背景 (1950年代変遷)	18	
4	ファッションビジネスの背景 (1960~70年代変遷)	19	
5	ファッションビジネスの背景 (1980~90年代変遷)	20	
6	ファッションビジネスの背景 (2000~現代変遷)	21	
7	ニュービジネス用語/概念	22	
8	ファッション産業構造(川上)	23	
9	ファッション産業構造(川中)	24	
10	ファッション産業構造(川下)/貿易	25	
11	ファッションマーケティング	26	
12	ファッションマーチャндаイジング/VMD	27	
13	計数知識	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

テキスト提出 30% 出席日数 70%

主要教材図書 ファッションビジネス概論用プリント

参考図書 日経、織研新聞、WGSN など

その他資料 教材専用プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ファッションビジネスの基礎知識の理解、ファッション産業構造の把握と専門業務を把握する。

記載者氏名 澤谷 目童

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	単 位	2単位
科目コード 500810	科目名 ファッションデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：坂本真由美	共同担当者：北山千春
----------------	------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

衣服と身体との関連性を理解し、構造を交えながら絵として表現する技術を学習する。
マーカーを使用した彩色表現を中心として、多様なアパレル素材の彩色方法を習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

(全26コマ)

1. オリエンテーション (家庭実習期間課題/1コマ)
 - (1)ファッションデザイン画の必要性を理解する (2)モデルのポーズを分析する
2. 8頭身プロポーション/ポーズ (オンデマンド授業/1コマ)
 - (1)8頭身プロポーションを講義 (2)ポーズの構成を演習する
3. マーカーの使い方 (オンデマンド授業/1コマ)

マーカーの使用方法を演習
4. スカートの描き方Ⅰ (オンデマンド授業/1コマ)

ベーシックなスカートの描き方を演習 (ギャザー、フレア)
5. 素材表現Ⅰ (オンデマンド授業/1コマ)
 - (1)衣服の構造による柄の現れ方の演習 (2)綿麻を中心とした素材の表現方法を演習
6. シャツブラウスの描き方 (オンデマンド授業/2コマ)
 - (1)ベーシックなシャツブラウスの描き方を演習 (2)オリジナルデザインのシャツブラウスを描く実習
7. 素材表現Ⅱ (1コマ)

ウールライク素材を中心に秋冬素材の表現方法を演習
8. スカートの描き方Ⅱ (2コマ)
 - (1)ベーシックなスカートの描き方を演習 (プリーツ、応用デザイン) (2)オリジナルデザインのスカートを描く実習
9. 製品図 (3コマ)
 - (1)製品図の必要性、基本的な描き方の演習 (2)製品図でオリジナルデザインの描く実習
10. 素材表現Ⅲ (1コマ)
 - (1)マーカー以外の画材を複合的に使用方法の演習 (2)秋冬素材の表現方法を演習
11. ジャケットの描き方 (2コマ)
 - (1)ベーシックなジャケットの描き方を演習 (2)オリジナルデザインのジャケットを描く実習
12. 素材表現Ⅳ (1コマ)

特殊素材、高級素材等の描き方を演習
13. ワンピースドレスの描き方 (2コマ)
 - (1)ワンピースドレスのディテールを演習 (2)オリジナルデザインのワンピースドレスを描く実習
14. パンツの描き方 (1コマ)

ベーシックなパンツの描き方を演習
15. 修了制作 (5コマ)

以下選択し発表を行う

 - ①イラストボード_ファッション画としてのイメージの表現力や背景を含めた画面構成を研究し制作する
 - ②マイコレクション_ファッションデザイン画として衣服の細部や製品図を含めたデザインの表現力を研究し制作する
16. 1年間のまとめ (1コマ)
 - 学年末試験 (実技試験) の説明 (2)1年間の授業内容を振り返る

【評価方法】

S～C・F評価/評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画

参考図書 なし

その他資料 教員作成の資料

授業の特徴と担当教員紹介

ファッションデザイン画の基礎的な技術を習得できる授業構成。文化服装学院専任講師が担当。

記載者氏名 坂本真由美

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	単位	1単位
科目コード 500100	科目名 クロッキー	授業期間	通年(隔週)

担当教員：柳澤 利光

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

様々なものの見方を通じ、ものを見て描く事・表現につながる描写と楽しさを再認識する事と合わせ、個性を伸ばす為の観察力・デザインイメージを見る側に伝える基本描写能力・表現能力の習得を目的とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業計画：

- 1、オリエンテーション：着装人体の描写に置ける基本と、各自の個性表現の可能性に気付く。
- 2、速写をする：動きとシルエットを捉える練習。
- 3、頭部を描く：頭部の基本造形を理解。
- 4、脚と手を描く：人体の曲線と直線、バランス。
- 5、色彩技法Ⅰ：色彩描写の基礎。コピック技法。自由画。
- 6、立体表現：明暗による立体把握。チョーク画。
- 7、色彩技法Ⅱ：色彩描写の基礎。コピックと他画材の混合技法。着装画。
- 8、胴体を描く：胴体を単純化した造形理解。肩胸腰お尻の凸凹理解。
- 9、無彩色技法：墨による単色表現。
- 10、表現技法：アクリル絵具とナイフによる具象～抽象画。
- 11、ヌードクロッキー：人体描写力を高める。(状況によりテーマ変更)
- 12、小物を描く：よく見ることからの表現。描写における足し算と引き算を考える。
- 13、まとめ：発想法。エナメルパンプスを描く実習。アンケート。

評価方法・対象・比重：

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。

主要教材図書：なし

参考図書：なし

その他資料：授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

授業の特徴と担当教員紹介

実際に手を動かして制作する中で、発想力や感性、描写力を伸ばします。担当教員はファインアートを主に制作しています。

記載者氏名：柳澤 利光

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12101	科名	ファッション工科基礎科1年	単位	2単位
科目コード	400400	科目名	西洋服装史	授業期間	通年 ()

担当教員(代表)：朝日 真

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を解説する。20世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッション史の理解を深める。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	1950年代のファッション(1)
2	博物館見学	17	1950年代のファッション(2)
3	古代の服飾	18	1960年代のファッション(1)
4	中世の服飾	19	1960年代のファッション(2)
5	ルネサンスの服飾	20	1960年代のファッション(3)
6	バロックの服飾	21	1970年代のファッション(1)
7	ロココの服飾	22	1970年代のファッション(2)
8	第一帝政、王政復古時代の服飾	23	1980年代のファッション(1)
9	第二帝政時代の服飾	24	1980年代のファッション(2)
10	第三共和制時代の服飾	25	1990年代のファッション(1)
11	アールヌーヴォー様式期の服飾	26	1990年代のファッション(2)
12	1910年代のファッション	27	
13	1920年代のファッション	28	
14	1930年代のファッション	29	
15	1940年代のファッション	30	

【評価方法】

前期レポート提出(30%)、学年末定期試験(20%)、出欠、授業態度(50%)

主要教材図書

文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。メンズとストリートファッションに特に興味がある。

専門/近現代西洋服飾史、ファッション文化論

研究論文：『近世以降における若者の反抗行動とファッション』『男子服における衿の変遷と考察』。雑誌『装苑』（文化出版局）ほか、ファッション誌へ多数寄稿。書籍『20世紀ファッション』（グラフィック社、2012年9月）を共同監修。

記載者氏名 朝日 真

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科 1年	単位	2単位
科目コード 400210	科目名 服飾デザイン論 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 三枝みさお	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的な知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。
 レベル設定：色彩の基礎知識や配色の基礎、形態の構成要素やデザイン展開、コンポジションのセオリーについて理解し、それぞれのテーマに沿ったビジュアル表現ができる力を有する。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. デザイン概論 (1コマ)〈講義〉
 - ・デザインの定義、デザインジャンル
 - ・服飾デザインの目的
 - ・造形的視点、機能的視点
2. 色彩 (7コマ)〈講義・演習〉
 - ・色の三属性とトーン [カラーチャート作成]
 - ・色の識別 [課題作成：色相別コラージュ]
 - ・光と色、三原色と混色 [プリント演習]
 - ・色の見え [プリント演習]
 - ・色彩の感情効果 [プリント演習]
 - ・色相を基準にした配色 [課題作成：カラーコーディネーション]
 - ・トーンを基準にした配色 [プリント演習]
3. 形態 (7コマ)〈講義・演習〉
 - ・形態の構成要素 [プリント演習]
 - ・形態の感情効果 [プリント演習]
 - ・シルエットの種類と特徴 [プリント演習]
 - ・線とシルエットの分析 [プリント演習]
 - ・線とシルエットの発想 [課題作成：直線/曲線]
 - ・形態の見え方、イリュージョン [プリント演習]
 - ・形態の展開 [課題作成：形態の展開]
4. テクスチャー (1コマ)〈講義・演習〉
 - ・視覚的触感 [プリント演習]
5. コンポジション (2コマ)〈講義・演習〉
 - ・ドミナント/セントラリティ [課題作成：コンポジション]
 - ・シンメトリー/アシンメトリー [プリント演習]
 - ・リズム(規則、不規則、グラデーション) [プリント演習]
6. イメージ (3コマ)〈講義・演習〉
 - ・イメージと言葉 [プリント演習]
 - ・イメージのビジュアル表現 [課題作成：イメージ別コラージュ]
7. 服飾デザインの展開 (5コマ)〈講義・演習〉
 - ・発想法の種類 [プリント演習]
 - ・発想法の活用 [プリント演習]
 - ・デザイン発想 [課題作成：デザイン発想]

【評価方法】
 S～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座② 『服飾デザイン』 文化服装学院編 文化出版局発行

参考図書

その他資料 ベーシックカラー140 B5版、ベーシックカラー140 B8版、カラーチャート

授業の特徴と担当教員紹介
 授業の特徴：講義と演習によって理論と感性を磨く
 担当教員：文化服装学院アパレルデザイン科卒業 日本色彩学会会員

記載者氏名 三枝みさお

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	単位	2単位
科目コード 200310	科目名 アパレル素材論 I	授業期間	通年(26コマ)

担当教員(代表)：菅野めぐみ

共同担当者：金澤三枝

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせることを目標とし、アパレル(衣服)の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎的知識を習得させる。さらに代表的な綿、毛、絹織物の種類に関して、教材(テキスタイルファブリック)を活用しながら、糸の構造や織物組織などの特徴に着目させ理解を図る。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 概論(4コマ)(オンラインおよび対面授業による講義および演習)

- 1-1 各自着用しているアパレル製品の品質表示を通して、繊維組成や取扱い方法などを認識させる
- 1-2 テキスタイルファブリック作成により布素材の種類や特徴をおおまかに認識させる

2. 繊維

2-1 繊維の分類(6コマ)(オンラインおよび対面授業による講義および演習)

- (1) 繊維の形状、性能、混用による分類および名称、用語について
- (2) 繊維の鑑別・鑑別法(顕微鏡法、呈色法)について

2-2 天然繊維(8コマ)(オンラインおよび対面授業による講義および演習)

- (1) 綿 (2) 麻 (3) 毛 (4) 絹
- ・各繊維の種類、構造と成分、性質、加工などについて
- 各繊維の代表的な織物の種類と特徴について(糸、織物組織、加工など)

2-3 化学繊維(2コマ)(講義)

- (1) 再生繊維 (2) 半合成繊維 (3) 合成繊維
- ・各繊維の種類、性質、加工などについて

3. 糸(3コマ)(講義および演習)

- (1) 紡績糸、フィラメント糸について
- (2) 糸の撚り構成、撚りの強弱について
- (3) 糸の太さの表示
- (4) ファンシーヤーン、加工糸などの種類

4. 布地(3コマ)(講義および演習)

- (1) 織物・構造、組織、特徴など
- (2) 編物・構造、特徴など

【評価方法】

S~C・F評価(学業評価80% 授業姿勢20%)

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局/「ワークブック—アパレル素材論—」文化服装学院教科書出版部/「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

講義とともに実物の布地教材に触れながら、繊維、糸、布地について素材への理解に取り組みさせる授業です。
文化服装学院専任講師

記載者氏名 菅野めぐみ

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12101	科名	ファッション工科基礎科1年	単位	1単位
科目コード	304010	科目名	服飾手芸Ⅰ	授業期間	半期(前期)

担当教員(代表)：毎熊舞

共同担当者：久保田桂子・田村渚

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾手芸全般における基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして服飾造形及び服飾小物などに応用発展できるようにする。また、素材・テクニク・造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 手芸一般知識(0.5)

手芸の変遷や技術の種類などを理解させる

2. レリーフ・ライク表現 ラティスマッキング 基礎刺し製作1点(1)

布の縫い縮め方によって新しい表面効果表現するテクニクを習得させる

3. レース表現 マクラメレース 基礎作品1点制作(1.5)

結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニクを理解し、応用発展できるようにする

4. 装飾造形表現 スラッシュキルト・マジックレース・プリーツ 作品1点制作(2)

ミシンを用いて様々な表面効果表現するテクニクやレースの原理を用いてオリジナル素材制作するテクニクを習得させる

5. 装飾造形表現 ネックレス製作 作品1点制作(2)

様々なパーツと糸のみで透かし模様を表現するテクニクと基本的な金具の使用

6. 加飾美表現 エンブroidアリー・各種装飾技法 オリジナルバック制作(7)

様々な手芸テクニクを用いてデザイン発想から色、素材の扱い方などを習得しオリジナルの装飾表現方法を理解、習得させる

【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書

教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

本校を卒業した服の知識や制作過程を理解した教員による服飾に特化した装飾手芸技術の歴史、知識および技術の習得を行います。

記載者氏名 久保田桂子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12101	科名	ファッション工科基礎科1年	単位	1単位
科目コード	400310	科目名	服装解剖学 I	授業期間	半期(後期)

担当教員(代表) : 足立美智子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体(骨格)に関する基礎知識を学習させる。人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識させる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション(講義内容の説明)	講義	1
シルエット計測の分析	〃	1
人体のプロポーション	〃	1
人体の構成と衣服(全身骨格)	〃	1
人体の構成と衣服(頭部)	〃	1
人体の構成と衣服(脊柱と衣服パターン)	〃	1
人体の構成と衣服(胸郭)	〃	1
人体の構成と衣服(乳房と前身頃)	〃	1.5
人体の構成と衣服(上肢帯)	〃	1
人体の構成と衣服(上肢帯と自由上肢骨)	〃	1
人体の構成と衣服(上肢帯と下肢帯の違いについて)	〃	1.5
人体の構成と衣服(下肢帯と自由下肢骨)	〃	1
障がい者衣料について(現状と研究活動について)	〃	1

【評価方法】
ノート提出・出欠状況…50%、確認テスト…25%、骨と原型についてのプリント…25%

主要教材図書 服装解剖学ノート(文化出版局)

参考図書 頭骨の文化史

その他資料 筋肉プレミアム アプリ・骨格アプリ・骨格標本・衣服標本

授業の特徴と担当教員紹介
 授業の特徴：
 衣服を着用する土台となる人体の構造や機能を把握し、動きやすく着心地の良い服、体に合う衣服製作への応用を目指す。
 担当教員紹介：
 文化服装学院アパレルデザイン科卒 文化・服装形態機能研究所 主任研究員兼務
 衣服製作に関わる計測などを専門とし、外部企業や他大学との共同研究やボディ・商品開発などを行う。2011年より障がい者衣料の研究を継続。NHK Eテレ「バリバラ」のバリアフリーファッションショーにも参加。(2015～17年)

記載者氏名 足立 美智子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12101	科名	ファッション工科基礎科1年	単位	1単位
科目コード	900100	科目名	英会話（自由選択）	授業期間	後期

担当教員(代表)：増田和香子

共同担当者： キャロライン・マッカーディ、越後谷明恵

【授業概要、到達目標・レベル設定】

日常生活の中、またファッションに関係する事例からトピックを選び、それに関連した英語表現を学ぶ。
文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通じた会話練習、聞き取り、英作文などを組み込んだ構成とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
自己紹介 Self-introduction	演習	1	場所に関する英語表現 Describing Place (adjectives and prepositions)	演習	1
過去形の復習 Past tense	演習	1	手順を説明する I'll show you how	演習	1
時間の表現 Frequency	演習	1	頻度に関する英語表現 Express your daily life	演習	1
アポイントメントをとる/約束する Making an appointment	演習	1	ファッションショー Fashion show	演習	1
好きなこと/嫌いなことを表現する Likes /Dislikes	演習	1	ファッションアイテム Fashion items	演習	1
人に関する英語表現 Describing people (personalities)	演習	1	色/柄 Colors/Patterns	演習	1
			コーディネート Coordination	演習	1

【評価方法】出席状況（30%）、ライティング（20%）、小テスト（30%）、オーラルプレゼンテーション（20%）を総合的に評価する。

授業の特徴と担当教員紹介

半期科目のため教員が3～4週ごとに入れ替わり、様々なバックグラウンドを持つ教員と英語でコミュニケーションをとることを一つの目標とする。ネイティブ教員1名、アメリカ研究1名、イギリス文学研究1名で構成する。

主要教材図書 *English for Fashion Students* (文化服装学院編)

参考図書

その他資料

記載者氏名 増田和香子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12101	科名	ファッション工科 基礎科 1年	単位	1単位
科目コード	904510	科目名	キャリア開発 I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 森 薫子

共同担当者 : 井浦 つくし

【授業概要、到達目標・レベル設定】

『将来を考える』という基本テーマを通して、自身の今後のキャリアを考え今後学ぶべきことを考えるとともに、「聴く・話す・書く力(読む)」を養うことを目的とする

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
授業の狙い/全体像 ・自分のことをつたえる キャリア開発 ・コミュニケーションの基本 ・グループワークの基本	・講義 ・グループワーク～発表 ・小レポート記入	1
キャリア開発 ・働く事について考える ・社会人について考える ・働き方について考える	・講義 ・グループワーク～発表 ・小レポート記入	1
自己理解 ・自分について考える ・社会人基礎力チェック	・講義 ・グループワーク～発表 ・小レポート記入	1
自己理解 ・自分の目標を考える ・10年後の自分を考える	・講義 ・グループワーク～発表 ・小レポート記入	1
就業観 ・職種について考える ・企業研究	・講義 ・グループワーク～発表 ・小レポート記入	1
就業観 ・企業研究発表 プレゼンテーション ・プレゼンテーションの基本	・講義 ・グループワーク～発表 ・小レポート記入	1
授業総括 ・プレゼンテーション 「私のキャリアデザイン」	・講義 ・グループワーク～発表 ・小レポート記入	1

【評価方法】

受講態度(グループワーク・プレゼンテーション実習) 80%+レポート20%

授業の特徴と担当教員紹介

・元アパレル人事担当者であり、現同校のキャリアアドバイザー講師2名が、人事目線や文化生の就職の傾向を取り入れながら、キャリア・就職への考え方を交え講義を進めます

主要教材図書・参考図書・その他資料等

特になし

記載者氏名 森 薫子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科 1年	単 位	1
科目コード 980010	科目名 特別講義 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：早瀬千加子他担任	共同担当者：1-早瀬・2-大津・3-稲葉・4-塚崎・5-山根 6-田中・7-池端
-------------------	---

科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)
 ・ファッション業界の各分野において幅広い知識・技術を修得すると共に、各自の専門性を考える動機付けを目標とする。
 ・レギュラー授業で包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する。

<p>【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マーケットリサーチ (1コマ) 波多野 辰美 先生 2. トータルコーディネーションとは・・・ヘア・メイクについて (1コマ) 小竹 珠代先生 3. コンピュータグラフィック・・・ポートフォリオ作成 (2コマ) 高崎 利々子 先生 4. マーチャンダイニング・・・ (1コマ) 金 ヒョンガン 5. ファッション業界について・・・アパレル業界の現状について (1コマ) 土屋 郷 6. 日本の装束・・・着物の一般知識・着装コーディネート・着付け (3コマ) 伊丹 宗友先生 7. 歌舞伎鑑賞オリエンテーション (1コマ) 窪寺 祐司 先生 8. ニッセンケン安全服・・・子供服 (1コマ) 滝口 順司・竹中 直 先生 吉村 とも子先生 9. ニットデザインについて (1コマ) 長谷川 ちひろ先生 10. パタンナーについて (1コマ) 村瀬 史憲先生 11. 学生生活について (2コマ) 小澤 佳世先生
--

評価方法・対象・比重
 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし
 参考図書 なし
 その他資料 プリント他

授業の特徴と担当教員紹介
 品質評価センターによる安全服(子供服)の講義、企業での企画経験によるマーケットリサーチ、マーケティングの講義、企業の社長によるマーチャンダイジングの講義、ブランドデザイナーによるファッション業界の現状についてやデザインについての講義、着物デザイナーや舞台企画企業による日本の装束や歌舞伎の知識解説や着装実習、パタンナーによる企業におけるパターンの解説など、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者署名欄 早瀬 千加子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	単位	1
科目コード 930010	科目名 校外研修 I	授業期間	前期

担当教員(代表) : 早瀬千加子他担任	共同担当者 : 1-早瀬・2-大津・3-稲葉・4-塚崎・5-山根 6-田中・7-池端
---------------------	---

科目概要 (教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

- ・美術館見学等を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。
- ・諸活動を通してコミュニケーション能力の向上を目指す。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・美術館見学

評価方法・対象・比重
 評価基準: 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定を決定する

主要教材図書
 なし

参考図書 なし

その他資料 小冊子・プログラム他

授業の特徴と担当教員紹介
 美術館見学等を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。
 諸活動を通してコミュニケーション能力の向上を目指す。

記載者署名欄 早瀬 千加子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	単位	(1)
科目コード 947100	科目名 コラボレーションa(自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表)：早瀬千加子他担任	共同担当者：1-早瀬・2-大津・3-稲葉・4-塚崎・5-山根 6-田中・7-池端
-------------------	---

<p>【科目概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次では、産業とのかかわりを持つことにより、企業とその実務を知るきっかけをつくり、課外活動（コンテスト活動など）への積極的参加を推進することを目標とする。 ・個々の能力に合わせて各自の専門性を追及する。

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>ニッセンケン品質評価センター×文化服装学院ファッション工科基礎科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JISに基づく安全服について理解を深め、安全を考慮した子供用安全服のデザインを理解しその上でデザイン案を企画し、実物制作を行う。プレゼンテーションと共に発表、学外の企業や検査機関に評価・好評をお願いする。 ・ 学生の就職活動や自己アピール研鑽の機会とする。 ・ 将来のファッション業界の人材に対し、社会的弱者を守る（ファッション+αの社会貢献）思想を育む。
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>評価基準：コラボレーションの企画内容と期間により単位修得とする。</p>

<p>主要教材図書</p> <p>なし</p>
<p>参考図書</p> <p>なし</p>
<p>その他資料</p> <p>なし</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>産業とのかかわりを持つことで企業とその実務を知り、課外活動（コンテスト活動など）への積極的参加を推進することを目標とする。</p> <p>個々の能力に合わせて各自の専門性を追及する。</p>
--

<p>記載者署名欄</p> <p>早瀬 千加子</p>
